

特別養護老人ホーム「しあわせ荘」改築・第一期工事 ユニット棟・管理サービス棟完成

今年6月からはじまった特別養護老人ホーム「しあわせ荘」の改築工事。このたび、第一期の工事が完了し、ユニット棟(60床)と管理サービス棟が完成しました。11月末ユニット棟への引越しが行われ、12月1日から新しい生活が始まっています。3カ年計画で行う改築工事は、この後、平成22年度に第2期工事として多床棟(61床)を、平成23年度に第3期工事として外構整備と車庫の建設を行う予定となっています。

「光があふれ、健康で快適に、楽しく生きがいを持つて暮らせる施設」として、木のぬくもりを生かした木造・平屋建てによる施設は、機能的で入所者の方が安らげる近代的施設へと生まれ変わっています。



玄関ホール。左側が事務室。正面を左に曲がるとユニット棟。右に曲がると医務室や厨房、会議室のほか、既存施設とも廊下で繋がっています。



玄関ホールを曲がり、6つのユニットへ向かう廊下。各ユニットは寿町、港町、浜町、緑町、幸町、栄町と親しみやすい名前が付いています。



各ユニット中央部の居間と食堂部分。天窓からやわらかな日差しが差し込む共用スペースです。この両側に個室が5室ずつ並んでいます。



共用スペースの居間から見た台所の方向。各ユニットごとにテーブルや椅子の配置などを自由に変えて個性を出すことができます。



東側から見たユニット棟の外観。ユニット棟が3棟並びます(ひとつの棟に2つのユニットが配置されています)。右奥に玄関、事務室や医務室、厨房などの管理サービス棟があり、来年度工事の多床棟と渡り廊下でつながります。

留萌管内で初めてのユニットケアの特別養護老人ホームです

小規模のグループを一つの生活単位(ユニット)として、「個人」を尊重し、家庭に近い環境で過ごすことができるような介護サービスを提供するのがユニットケアの施設です。

新しいユニット棟では、10人がひとつのユニットに入居。居間、食堂、台所、洗濯室などの共用スペースを囲んで10室の個室を配置しています。トイレはユニットに2カ所配置。ユニットを一つのお家のようにして、食事や団樂を楽しみ家庭的な雰囲気の中で生活できます。



個室は約9畳。ちょっとした家具や思い出の品を持ち込み、「自分の部屋」を作ることができます。自室でテレビを楽しむこともできます。



各ユニットをつなぐ渡り廊下の中央部には、介護ステーションがあります。



浴室は6つのユニットに3室3タイプ。介護度に合わせた入浴ができます。